

# あさかわ

議会だより

No. 113

平成30年11月7日

福島県浅川町議会



## あさかわこども園 はじめての運動会

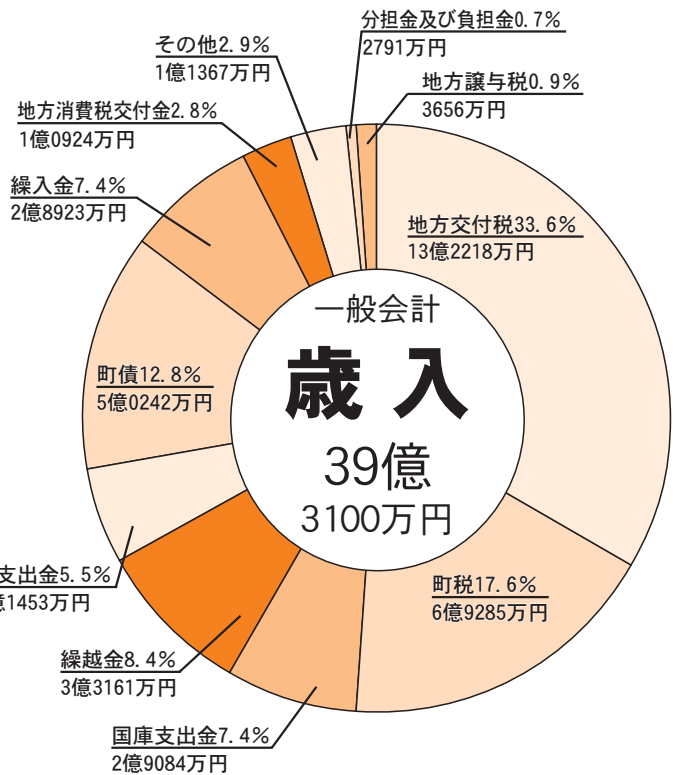
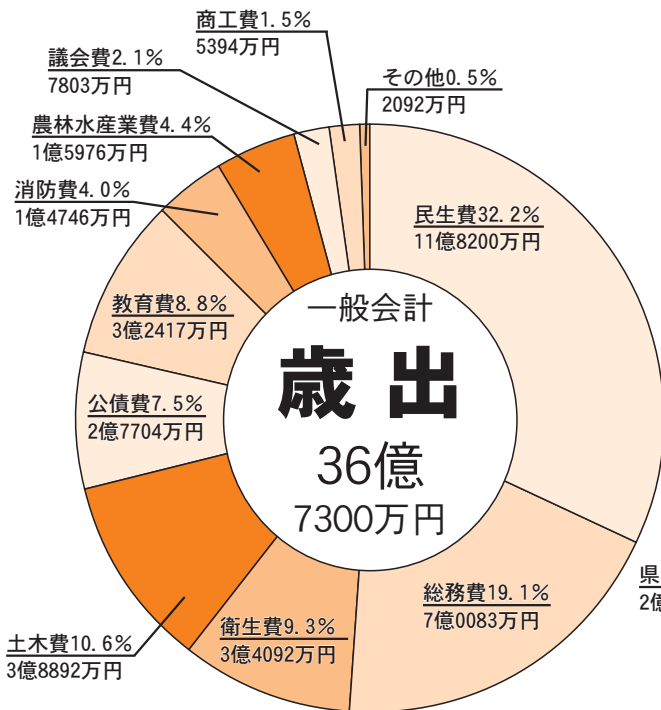
29年度一般会計決算審議 .....	2
一般質問 3人の議員が町政を問う .....	10
研修報告 廃校利用 .....	14
シリーズ6 東北のミケランジェロ 小松寅吉 .....	17
追 跡 公共施設のトイレの洋式化 .....	18
町民の声 .....	20

# 会計決算

## 財政の健全化を維持

財政調整基金

(町の貯金)は **6億5000万円**



## 一般会計 2億4900万円の黒字決算

一般会計の歳入は、歳入総額39億3100万円となり、前年対比95・0%で28年度より2億5000万円の減でした。一方歳出では、総額36億7300万円となり、前年対比96・6%で1億3000万円の減でした。繰越額を差し引いた実質収支は2億4900万円です。黒字決算となりました。

健全化判断指標は、財政健全化指標は、実質公債費比率7・7%（前年度比0・8ポイント減）将来負担比率22・1%（同0・3ポイント減）となり、きびしい財政状況の中、財政健全化に向けた努力がなされました。

### 健全化判断比率

9月議会定例会は、9月10日から13日までの4日間の会期で開かれました。一般質問では、3人の議員が18項目について質問し、活発な議論が展開されました。また、条例の一部改正や補正予算などを審議し原案通り可決しました。平成29年度一般会計、特別会計などの歳入歳出決算認定については、原案の通り認定しました。

## 9月議会定例会

認定

# 29年度一般



29年度の  
主要な事業

あさかわこども園が完成 5億1331万円



第3分団第1班(簗輪)の積載車を購入 570万円

監  
査  
報  
告

本多 代表監査委員

審査に付された各会計歳入歳出決算書、同事項別明細書、実質収支に関する調書及び財産に関する調書は関係法令に準拠して作成されており、その計数は誤りのないことを確認した。また予算の執行及び関連する事務の処理は適正に行われているものと認めた。

《総評》

計数に誤りがなく各証書類もよく整備されている。町税、分担金及び負担金、使用料及び手数料の収入未済額の徴収に最大の努力を行われることを切に要望する。

# ここが聞きたい

# 一般会計 決算審議

## 若者定住モデル住宅 入居者の感想と今後の計画は

**問** 地方創生モデル住宅4戸が完成し、4世帯11人が新たに浅川町に入ってきて住むことになった。入居者の感想を把握していれば伺いたい。また、今後さらに取り組む考えはあるか。

**答** 入居者の奥さんから、とても環境が良く静かで良かったという喜びの声を聞かせていただいた。今後については補助事業を見極めながら、適切なものがあれば検討していきたい。



▶完成し4世帯が入居した「滝ノ台団地」

## 納税率さらに向 債権差押の状況は

**問** 町税全体で収納率が前年度より0・5ポイント増えて95・2%になり、監査委員から評価するという報告もなされた。臨戸徴収が延べ59日、人数にして288人と大変な努力の結果だと思うが、債権差押の状況はどうなっているのか。

**答** 差し押さえは債権差し押さえが主で、給与照会等かけたものが19件、うち差し押さえ9件で約60万円だった。給与等の差し押さえでは、生活保障費など差し押さえ禁止額が定められている。

## ふるさと納税は何件か

**問** 一般寄附金とふるさと応援寄附金の状況は。

**答** 一般寄附は4名の方からあり、3名は町外の方だった。ふるさと応援寄附金については53件51人から寄附をいただいた。

## 空き家対策の成果は

**問** 空き家の再活用に

取り組んできたが、概要と成果を伺いたい。

結んでいる。1件だけ

だが、一般の方から申し込みがあり、その空き家は現在、売却された。

**答** 空き家バンクとして宅建業者とも契約を

## 防犯灯のLED化は進んでいるか

**問** 新設した防犯灯7

基は、全てLEDにしたのか。また、古くなった防犯灯を何基LEDに交換したのか。

EDにしている。古くなって壊れたものについてLEDに交換し

ており、29年度に器具交換、修繕、移設等を行った23基は全てLEDに交換している。

**答** 29年度で新設した防犯灯7基は、全てL

## 町への森林賠償は

**問** 原発事故による町

有林の森林賠償について、昨年の議会で質問した時は、「東電ではだめだという答えだったが再度話をする」ということだった。どうなったか。

**答** 東電と現在も話し合いを進めている。地方公共団体については、

売買実績等があるものは賠償しているが、ないものは賠償できない

ということだが、話し合いはしている。話し合いの結果、以前はだめだった学校関係の除染マットが認められる方向になっており、森林賠償についても今後定期的に話し合いをしたい。

## 討論

― 反対討論 ―

**角田議員**

私たちが求めている幼稚園授業料の無料化など前進もあるが、何よりも、幼保一体化施設のオープンと同時に利用できる庭の遊具が一つもできないでしまった。園庭で遊ぶ子どもたちを思

― 賛成討論 ―

**久保木議員**

初日、町長から提案理由の説明、また各課長より詳細に説明があった。その中で歳入においては、特に徴収事務に力を入れており、収納率の向上に努めていることが認められた。歳出においても、各般にわたり重要な施策を実施し、特にあさかわこども園は立派に竣工した。これらの実績を大いに評価する。

## 採決

賛成7人、反対3人で認定しました。



▲町内でも増えている空き家

# 特別会計決算審議

## 国民健康保険特別会計

### 一次検診の受診率向上策は

#### 【質疑】

**問** 町の検診で要精密検査と判断された方の受診率向上が町の課題になっている。どのように取り組んだのか。

**答** 保健センターと協

議し、結果通知後、なるべく本人と対話し、そのままにしておく、そのまゝにしておくと重大な疾病になるおそれがあるデータや具体例を示して受けてもらうようにすることにした。

### 古い保険証、各自で廃棄を認めてはどうか

**問** 新しい保険証ができた際、古い保険証は役場に返すようにという紙が入っているが、町民の手間を考えたならば、切捨てて下さいということを入れてもいいのではないか。

#### 【採決】

全会一致で認定しました。

**答** 自分で適切に処理できるのであればハサ

## 宅地造成事業特別会計

### 【討論】

#### ― 反対討論 ―

**田中議員** 定住移住住

宅を建てて37区画が35区画に減ったと考えるのは間違い。販売していくことが私どもの使命である。9千万円を一般会計から繰り入れて庁舎建設基金の繰入金を解消することになっていることも指摘する。

#### ― 賛成討論 ―

**上野議員** 定住モデル

住宅をわざわざお金を出して土地を求めて建てるよりは、宅造を活用して建てたのは間違いでも何でもない。なぜ9千万円を繰り入れなければならぬかは、前から繰り返し説明されている。

#### 【採決】

賛成9人、反対1人で認定しました。

## 公共下水道特別会計

### 加入率はどうなっている

**問** 公共下水道の受益者負担金・分担金の納入状況は。また、加入率はどうようになっていくか。

**答** 受益者負担金の滞

人分27件となっている。加入率は今年の3月31日現在、全町的な人口の中で40%2609人の普及率、1487人の普及率、1487人の普及率となつて

#### 【採決】

全会一致で認定しました。

## 上水道会計

### 町水道1リットルの単価は

#### 【問】

町の水道水は非常に安い、1リットル当たり18銭になる。30銭でつくって18銭で売っている計算になるのか。

**答** 普通の水は1リットルのペットボトルで200円くらいだが、

#### 【採決】

全会一致で認定しました。



▲安くて安全な水をつくっている町の水道施設

## 条例改正

### 里小・山小屋内運動場 使用料徴収条例から削除

里白石小学校と山白石小学校が来年度から浅川小学校に統合されるのに伴い、それぞれの屋内運動場の使用料を、来年4月1日をもって削除するもの。

#### 【質疑】

**問** 廃止した後、体育館を使いたいという人があつたらどうするか。

**答** 副町長を代表に跡地利用活性化委員会をつくり、今、今後どのような形で利用できるか模索している。

#### 【採決】

全会一致で可決しました。

### 震災復興基金条例を廃止

平成23年に本条例を制定し、県の復興支援交付金を積み立てて各事業を実施してきたが、平成29年度で事業が完成したことから、条例を廃止するもの。

#### 【採決】

全会一致で可決しました。

## 人事

### 監査委員に渡辺幸雄 議員

江田文男議員の議員辞職に伴って空席となった議会選出監査委員に、渡辺幸雄議員を選出することに議会の同意を求めるもの。

#### 【採決】

全会一致で可決しました。



▲震災復興基金を活用したあさかわこども園のホール

## 請願

### 学校給食費の無料化を国・県に求める 請願を採択

国と県それぞれに対し、学校給食費の無料化を求める意見書の提出を求めた請願。

**請願者** 新日本婦人の会福島県本部会長 井上裕子さん

**紹介議員** 上野信直 角田 勝

#### 賛成討論

角田議員 町長は、国や県の動向をみながら無料化を検討したいと答弁した。国や県に要請する本請願に賛成する。

#### 【採決】

全会一致で採択されました。

#### 【提案理由】

国・県が無料化を実施すれば、町が独自に行っている半額助成の予算は、他の住民福祉向上のための施策に回せるようになる。

**正算  
補予**

30年度一般会計補正予算

# こども園に 18種類の遊具を設置 3240万円



歳入歳出に2億4

281万円を追加し、

総額34億4164万

円にするもの。

歳入の主なものは

前年度からの繰越金

が1億8976万円、

地方交付税が222

2万円。

歳出の主なものは  
次のとおり。

○予備費

4833万円

**【質疑】**

**問** 浅川小学校の運動着について詳しく説明を。

**答** 浅川小学校ジャージの新調は、統合に向けた説明会での約束。現在の昭和時代のもので素材も今ではなじまない。長袖長ズボンと、夏の半袖と短パンをリニューアルしたい。

○財政調整基金積立金

1億2499万円

○町議会議員補欠選挙費

111万円

○保健センター駐車場整備費

190万円

○小学校統合に伴う運動着費用

460万円

○あさかわこども園園庭の遊具設置工事費

3240万円

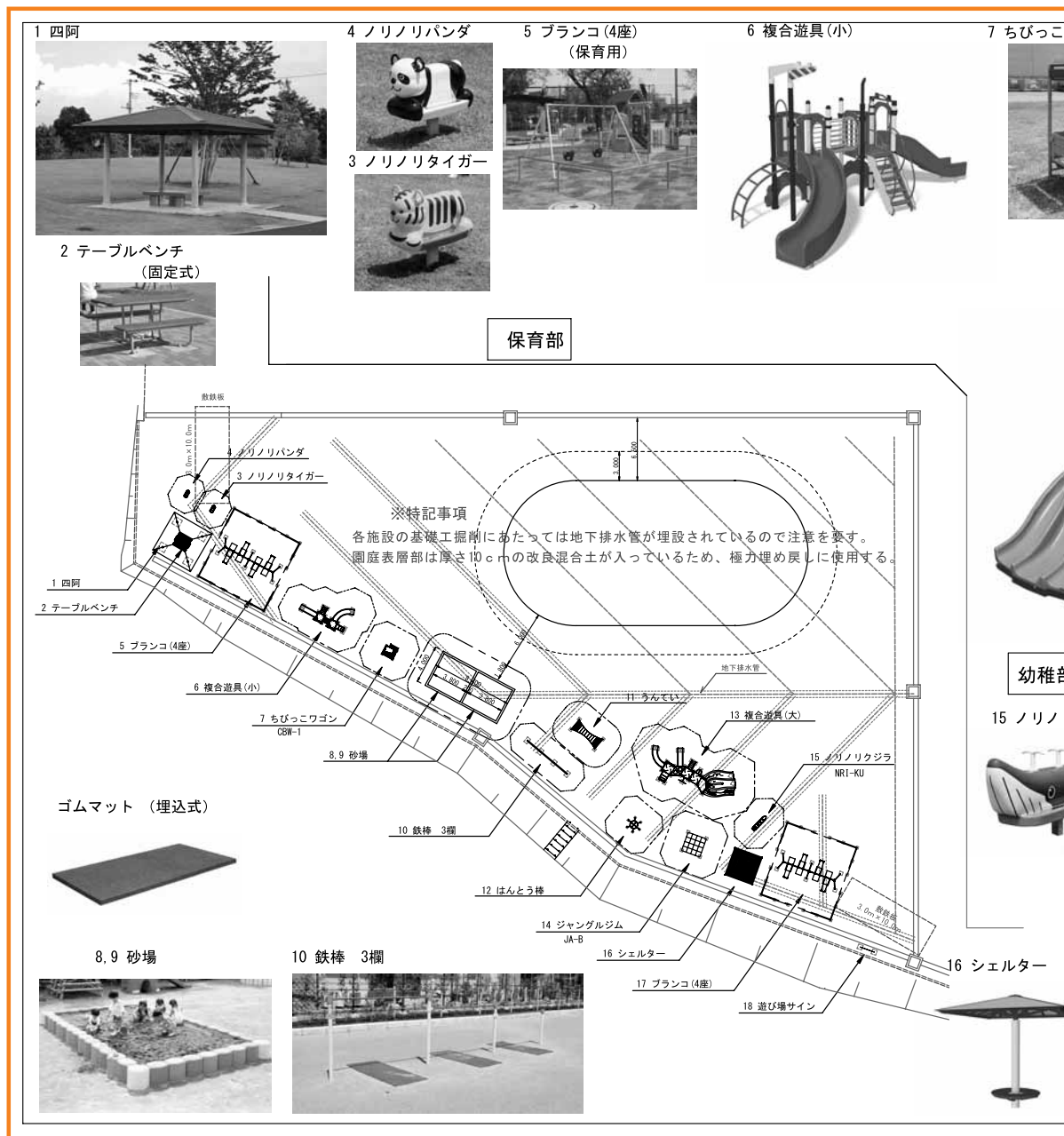
**問** こども園の遊具はこの3200万円で終るのか。

**答** これで遊具18点を設置する。

**【採決】**

全会一致で可決しました。





▶設置される遊具

## ■ 9 月定例会採決一覧

○賛成

×反対

議長は採決に加わらない

全23議案中、賛否が分かれた議案は次のとおりでした。

議案名	渡辺 幸雄	金成 英起	須藤 浩二	緑川 富士男	笹島 亮二	水野 秀一	田中 重忠	上野 信直	角田 勝	久保木 芳夫	円谷 忠吉	議決結果 (賛成：反対)
平成29年度浅川町一般会計歳入歳出決算の認定について	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	—	認定 (7：3)
平成29年度浅川町宅地造成事業特別会計歳入歳出決算の認定について	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	—	認定 (9：1)
平成30年度浅川町宅地造成事業特別会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	—	認定 (9：1)

## 3人の議員が質問

(通告順)

### 1 田中重忠議員

- (1) 町長の選挙公約について
- (2) 物産直売所、山白石漬物加工所、移動販売について
- (3) 宅地造成事業特別会計について
- (4) 一般社団法人「元気あさかわ夢工房」について
- (5) 町の人口減少と適正な財政規模について

### 2 角田勝議員

- (1) 学校給食費の全額無料化で子育て支援の充実をはかること
- (2) 障がい者の雇用を増やすためにも町職員としての採用増をするべき
- (3) 山白石、里白石小学校の統合後の施設利用対策はどの様に進められているのか
- (4) 地方創生事業の直売所、加工所、移動販売車、各事業の状況と計画、実績などについて
- (5) 町内の巡回バスは早急に見直し、町民がもっと利用し易いものにすべき
- (6) 鮫川への県道、関東精工入口下の排水路補修を県で行うよう要請してほしい

### 4 上野信直議員

- (1) 小中学校の体育館や特別教室などの暑さ対策はどうなっているか
- (2) 想定外の自然災害が相次いでおり町防災計画の具体化や避難計画の見直しを
- (3) 重度心身障害者の医療費助成は医療機関の窓口支払い不要の方式に変更を
- (4) 公共施設とともに児童・生徒の通学路の危険なブロック塀調査と対策を
- (5) 高齢者の運転免許返納促進のためのタクシー券は商品券との選択制にしては
- (6) 崩れかけて危険な旧浅川座は、国の補助事業などを使って何とかできないか
- (7) 県道社田浅川線の浅小北東側カーブ部分の路面排水対策を県に求めよ

町の考えを  
ただす

町民の声を  
伝える

町政に  
生かす

一般質問とは、議員がその町村の行財政全般にわたって、執行機関に疑問点をただし、所信の表明を求めるものである。一般質問は9月11日に行われ、3人の議員が質問し、1名の方が傍聴されました。

# 一般質問

一般質問とは、議員がその町村の行財政全般にわたって、執行機関に疑問点をただし、所信の表明を求めるものである。

## 町長の選挙公約は

### 振興計画に入れていただいた



田中重忠議員

**問** 町長の選挙公約は誠実、実行、笑顔だと言っているが、これはキャッチフレーズ、スローガンで公約ではない。

町民は町長が任期4年間に町民と町発展のために何をやるのか、何をやってくれるのか明確に約束してほしい。「公民館、体育館の耐震工事とか文化センターとか、私がそんな公約をしてできなかったら大変なことになる。そういう危険性があるから公約しない」などと答弁しているが、町長は町民に対し、自らの言葉で町と町民のために何をやるのか明確に

示していただきたい。

**町長** 私は、基本的に誠実・実行・笑顔、5つの基本方針、これらを基本に振興計画の中に入れていただき、第5次振興計画が議会の議決をいただいた。それを忠実に守り、実行することが、有権者に対する基本姿勢である。それ以外の細部のものは、今後、その時期、そのときに応じて検討すべき課題だと思っている。

## 一般社団法人『元気あさかわ夢工房』は

### 加工所はこの秋稼動する



▶ 始まった漬物作り

**問** 町は、一般社団法人『元気あさかわ夢工房』を理事町長、JA夢みなみ専務岡部喜市郎氏、商工会長小宅善一氏で設立。農産物直売所、漬物加工所、移動販売車の運行を初期費用1650万円で立ち上げた。(国からの補助2分の1)

**町長** 町の負担額は現時点では確定できない。  
**農政商工課長** 加工所の開所予定は現在調整中だが、白菜、大根等秋野菜の収穫とあわせて稼動する見込みになっている。

# 学校給食費全額無料化で 子育て支援の充実を



角田 勝議員

## 国県の動きを見極めたい

**問** 町は給食費の半額助成を実施し、喜ばれている。学校給食は教育の一環であり、子育て支援充実のためにぜひ実施すべきだ。全国で毎年無料化が増え、県内でも12町村になった。半額が8町村、3分の1等が9町村となり、半分以上が助成している。町の助成は昨年で1713万円で、すぐにできる。「子育てするなら浅川町で」といわれる子育て支援、県内一の町づくりを進め、若者が住み、人口減少をくい止め、活気のある町づくりを進めるべきではないか。



**町長** 平成28年度より半額助成を実施している。全額無料化については、今、国、県がどのような動きをするか。今後、よい方向に検討を積んでいければと思うている。子育て支援、あるいはその保護者家庭の経済支援等々もあるのですが、国県の動きを見きわめながら方向性を検討したい。

## 障害者雇用を増やすため 町職員として採用を

### 分け隔てなく採用したい

**問** 現在国家公務員採用で障がい者雇用が法律を守っていない事が明らかに問題となっている。言語道断であり許すことができない。町では守っているとの答弁だ。ちゃんと守っているのか。増やすべきと考えるがどうか。

**町長** ①平成30年度の状況では、法定雇用率は2・5%で、実雇用率は、2・59%である。

②町内の手帳保持者は346名。

③特に障害者の受験を制限していないので、試験成績により分け隔てなく採用したい。

④現在採用されている正職員はいる。個人が特定される可能性もあり、プライバシーの観点から、人数については控えさせていただきたい。

④正式な職員としてフルタイムで働ける人たちも多くいる。本人の

# 小中学校体育館の暑さ対策を



上野信直議員

## 万全に整えて子どもたちを育てたい

**問** 今年は過去に例がない酷暑になった。小・中学校の子どもたちはしっかり学習や運動に励める環境にあるのかと、心配する声も聞かれる。そこで、①各学校に設置されているエアコンは適切に活用されているのか。電気代などを心配して十分活用されないのでは困るので、作動の基準を伺いたい。

**教育長** ①猛暑の夏に対応すべく、エアコン作動の基準は25度となっている。25度にならなくとも体感温度で暑かったり不快に感じるときは作動し、適切に対応している。

②体育館で活動する場合は、適宜水分補給を行ったり扇風機の使用など熱中症予防に努め、中学校では35度近くなったら体育活動を中止した。とりあえず大型扇風機の設置を考えており、エアコンは検討しなければならないかと考えている。

**町長** 万全を考え、最高の環境で子どもたちを育てたいと思っており、努力したい。

# 崩れかかって危険な旧浅川座を何とかできないか

## 危険家屋の撤去は所有者が



旧浅川座

**問** 以前にも危険な状況にあると質問した旧浅川座の建物は、現在、朽腐が一層進み、屋根の中央部分が大きく崩落してしまった。雨が降れば建物内部に直接降り注いでいる状況で、吹き飛んだと思われる屋根のトタンなどが多数建物のそばに集められている。付近の住民や通行人の安全を守るためにも、国の補助事業などがあればそれらを活用して撤去するなど、何とかするべきではないか。

**町長** 旧浅川座については定期的に巡回を行い、現状は掌握している。国の補助事業の件は、地域住宅計画に基づき、家屋の所有者に撤去費用の補助を行っている市町村に対し、その半額を国が補てんする制度はあるが、町ではこの危険家屋に対する補助制度を実施していない。いずれにしても危険家屋の撤去は所有者が行うべきものである。今年度は現況の写真を同封し取り壊していただきたい旨の文書を2度郵送しており、今後とも連絡を行いたい。

# 利用を視察

6月27・28日の2日間、4ヶ所の施設を訪問し、統合により閉校となった小学校の利用について研修しました。

## 体験交流施設

茨城県常陸太田市

### 旧金砂小学校

かなさ笑楽校は、平成20年3月に閉校した旧金砂小学校を改修し、豊かな自然体験や生活体験・農作業体験・そば打ち・豆腐作りなどのできる施設で、宿泊室が9室あり50人程度の宿泊が可能です。

また、体験のほかにグラウンドや体育館を利用した合宿や素泊まりにも利用できる施設です。



## 杉インテリア木工館

栃木県さくら市

### 旧穂積小学校

公募により「杉インテリア木工館」に決定し、市と年間24万円で賃貸契約を締結して使用しています。

里山に残された資源（杉や桧、地元人材、廃校施設等）を活かして、新たな仕組みをつくり仕事を創出し、持続可能な地域づくりをめざすプロジェクトということでした。





# 学校の跡地

## 食事・宿泊施設 森の校舎カタクリ

福島県三島町

### 旧西方小学校

平成7年に統合により閉校。同年4月1日より生涯学習センターとして利用。平成9年にふるさとC&Cモデル事業で宿泊施設に整備し、町教育委員会直営で利用開始しました。平成18年度より指定管理者制度になり、西方カタクリの会が営業しています。



## 交流施設 人の駅

福島県猪苗代町

### 旧山潟小学校

平成18年3月に閉校となる。平成29年2月に「旧山潟小学校人の駅構想地域再生計画」を策定し交付金の採択を受けました。施設の運営は、公募により決定した「NPO法人ばんだい2000」が、教育旅行や農業体験などの事業を行っています。



# 山形県白鷹町議会が来訪

— 議会だよりの製作を研修 —

町村議会広報全国コンクールで奨励賞を受賞した浅川町議会を、7月25日、山形県白鷹町の議会広報委員会の皆さんが研修に訪れました。一行は奥山勝吉委員長他4名の委員さ

んで、円谷忠吉議長が歓迎の挨拶を述べました。

研修では、議会だより作りに多くの質問が活発に出されました。



白鷹町議会のみなさんと

## 議会傍聴においでください

次の定例会は12月6日(木)、一般質問は7日(金)の予定です



# 東北の ミケランジェロ

## 大庄屋、松浦家の 棟飾り石は小松寅吉作か

藁谷六朗（文・写真）

小松 寅吉  
(こまつ とらきち)



弘化元(1844)年、山形村(現石川町)に生まれる。高遠藩から浅川町福貴作地区に移り石工をしていた小松利平に弟子入り。白河市東の鹿島神社の狛犬など数々の傑作を残し、東北のミケランジェロとたたえられている。大正4(1915)年に死去。



江戸時代から明治期まで山白石地区に大庄屋松浦家がありました。現在も長屋門が保存されその奥に越後大工が建造した瓦葺き屋根の大家があります。

玄関棟には小松寅吉作の棟飾り石が取り付けられています。小松寅吉独特の力強い風格ある彫刻をしています。確かに記録は残されてはいません。

内容は、波の中央に龍を置き、その上に家紋を浮かばせて火伏せを祈願して、周りには多くの鳥を描き楽園のような図柄で、龍の怖さと楽しさが鑑賞者の心に芸術作品ですよと伝えていような気がします。

小松利平時代から何らかのつながりがあり、(福貴作地内には松浦家の石採掘現



▶地震前撮影 (上野敏郎氏)



▲地震で壊された灯籠

場があった)小松寅吉に継承され、また、本内共同墓地の灯籠には石工小松寅吉、(平成23年3月11日大震災で倒壊)

明治24年7月14日と記されています。

あの提言はどうなってるの？

公共施設のトイレを  
洋式・暖房便座に

平成29年12月定例会

答

改修改造工事については計画的に実施していく。

問

公共施設のトイレの洋式化を積極的に取り組むべきではないか。

平成29年12月定例会

答

トイレの改修については、子どもたちがよりよい学校生活が送れるよう検討したい。現在設置されているのは、浅川小学校では16ヶ所。里白石小学校3ヶ所。山白石小学校6ヶ所。浅川中学校では13ヶ所である。

問

子どもたちから、和式トイレは使いにくいと以前から多くの声が上がっている。小中学校で和式トイレから洋式トイレに換える予定はあるのか。



▶改修された公民館のトイレ

# 古里 写真館

Vol. 8

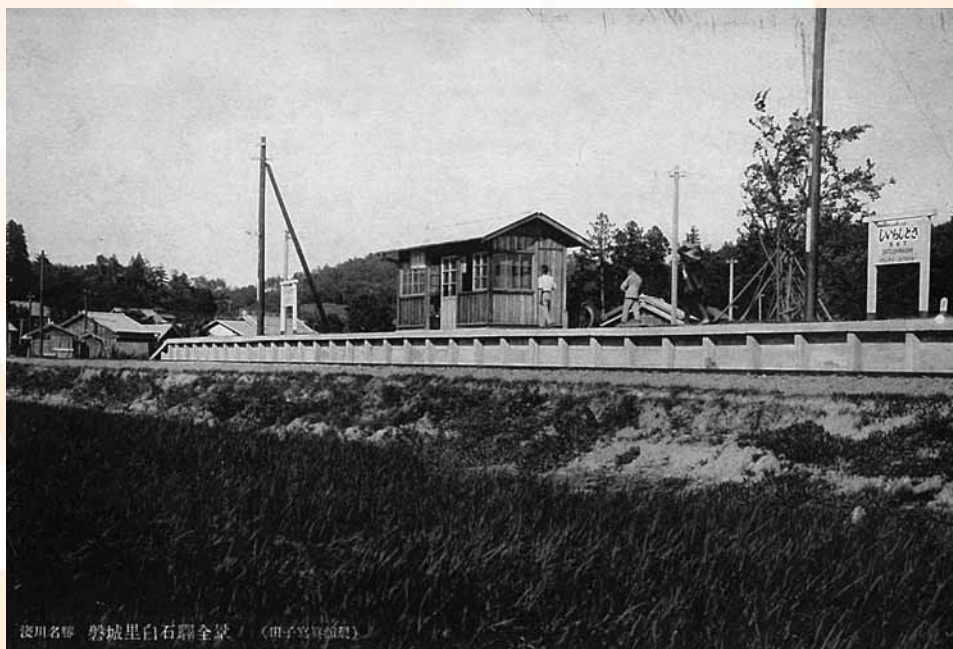
Photograph

## 交流のページ

古里の写真をお持ちの方は、ぜひご連絡下さい。誌上でご紹介させていただきます。

浅川町議会事務局 36-1182

— お願い —



浅川名勝 磐城里白石駅全景 (田子写真館提供)

昭和15年頃 新生浅川町紹介／荒町 水野剛雄氏提供

田子写真館が発行した浅川名勝ブromaイド5枚セットの1枚。磐城里白石駅を撮った写真で、右から書いてある駅名の看板が時代を物語っております。



昭和38年頃 白山比咩神社例大祭／本町 須藤義明氏提供

本町上組・新町組の皆さん。大屋台の前みんな笑顔で『ハイチーズ』



還暦野球チーム  
浅川ドリームス監督

八木沼 寿 幸 さん

# グラウンド整地に使用する 備品を多くして頂きたい

設立は平成21年。60歳以上の野球好き（酒好き）の健康維持と往年の野球少年の夢の再現のためチームを結成、平成22年より福島県還暦軟式野球連盟に加入しました。

県内には現在22チームが存在しI部11チーム、II部（当部が所属）も11チームに分れそれぞれ年間リーグ戦で10試合、県選手権大会、県南大会、練習試合を含めると年間15試合程度の試合をしています。

試合は県内各地で行われ北は国見から西は西会津、東はいわき等県内を転戦しますが、何ととってもうれしいのが公式球場で試合が出来るのが多い事です。これまでも、あづま球場、会津球場、平球場、泉崎さつき球場、白河グリーンスタジアム等で試合が来ています。試合が終わってから

の反省会も楽しみみの一つで、皆これといった反省もせずに愉快に酒を楽しんでいます。さらに秋には会津で連盟全22チームによる県選手権大会があり、夜は東山温泉や芦ノ牧温泉で全チーム合同で

の200名を超す大宴会も行われます。練習は週2回町民グラウンドを中心に行っています。現在メンバーは23名おりますが、試合当日都合が悪い者が多く、試合メンバー確保に苦

戦しています。来年の場合昭和34年4月1日以前の誕生日の方が加入できますので、もう一度野球に情熱をかけてみたい方、未経験者を問わず大歓迎致します。



## 編集後記

厳しかった夏の暑さはすぎ、すっかり秋の気配です。キンモクセイの甘い香りが鼻をつく季節になりました。

広報委員は視察研修に、又、他県よりも訪問を受け、お互いに読みやすく、興味ある議会だよりの発行をめざし頑張っております。季節の変わり目です。健康に注意され元気で過ごしてください。 久保木 芳 夫

広報特別委員会 上野 信直 須藤 浩二 渡辺 幸雄  
金成 英起 水野 秀一 久保木芳夫